



R I. 第2620地区 静岡第2分区  
三島西ロータリークラブ

# 週報

第1999号

事務所 静岡県三島市中央町4番9号 2F  
TEL(055)976-6351 FAX976-6352  
例会場 静岡県三島市梅名393-1 ブケ東海三島  
TEL(055)984-0120  
会長 諏訪部照久 幹事 千葉 慎二



広重版画より 三島 朝霧

## 第2062回例会

2015.3.5晴

### 司 会

三田明宏君

### 国歌斉唱

四つのテスト

### ロータリーソング

「奉仕の理想」  
指揮 栗原達治君

### 会長挨拶

会長 諏訪部照久君

皆さんこんにちは、先週三島西ロータリーでは盲導犬の週でしたが、マスコミでは家庭用イヌ型ロボット「アイボ」が取り上げられていました。アイボは1999年から7年間発売されましたが数年前にメンテナンスが打ち切れ、壊れても、寂しさから捨てられないで悩んでいる飼い主が、全国に沢山いるとの事でした。そこで、定年退職した元エンジニアが数人で修理業を立ち上げ、壊れたアイボの修理を行っています、数か月の予約待ち状態だそうです。その話で、ロボットでも人間を癒せることがわかりました。一方、2月28日の静岡新聞・3月1日の産経新聞では、生活に溶け込む身長120センチの人型ロボット「ペッパー」の紹介記事が掲載されていました。ペッパーは、ネコ型ロボット「ドラえもん」までは程遠いですが、人工知能や30個のセンサーを内蔵し、人の表情や音声などを推測しながら会話できるのが特徴です。発売元はソフトバンクで主な販売先は、各家庭や会社受付・銀行窓口・量販店の窓口・役所窓口で「認知症対策アプリ」を使用すれば高齢者に話かけて薬の飲み忘れの防止や会話内容を医師や家族にデータの送信ができるので介護現場なども見込んでいるとのことです。現在、開発者向け300台の限定販売で、本体価格は21万3840円、アプリ(応用ソフト)や故障対応サービスを利用すると別途3年間で95万6448円必要ですが、わずか1分で販売予定数を上回りました。一般的には、夏ごろ発売予定ですが価格はもう少し安くなり、販売対象は一般家庭とのことです。以上のことから、将来的には盲導犬ロボットが開発される

かもしれません。しかし、なんでもロボットとなると、私が子供のころマンガに出てきたロボット「鉄腕アトム」「ドラえもん」等の世界が現実になると言う期待と、見えない世界に対する不安とで複雑な気持ちになります。最終的には、開発者側と使用者側の倫理観の有無によって、良くもなれば悪くなる世界でしょう。そこで、全世界の人々に「4つのテスト」を唱えたいと思いますが、さて皆さんはどう思いますか。

### “こんにちは、ようこそ”

ゲスト 室伏 強さん(川名君のゲスト)  
田島一慧さん( )

### 出席報告

	出席総数	出席率	メー ク ア ッ プ	修 出 席 正 率
前々回	40/45	88.89%	42/45	93.33%
今 回	37/45	77.08%	会員総数	48名

欠席者 窪田君、鈴木(正)君、長田君、橋本君、花房君、藤江君、古川君、米山君

### 幹事報告

幹事 千葉慎二君

- ①本日の卓話は、川名さん。みしまびとプロジェクトのゲストスピーチも。
- ②3月12日(木)夜間例会、亥角さんの卓話から変更 苗栗派遣中学生歓送会(豊岡市長も出席)
- ③3月19日(木)卓話:瀬川さん
- ④3月26日(木)卓話:遠藤(武)さん
- ⑤3月28日(土)PETS、山梨県立図書館、次年度会長幹事が出席

2014~2015年度  
国際ロータリー会長  
ゲイリーC.K.ホアン

ロータリーに輝きを

## おめでとう

会員誕生日 前田(房)君  
奥様誕生日 原君、石井(彰)君、  
遠藤(真)君

## スマイルボックス

- ◆栗原君、孫が早く嫁に行けるように、昨日3月4日にはおひな様を片付けました。孫はまだ1歳です。
- ◆石井(良)君、先月23日の盲導犬チャリティーコンサートは、皆様のご協力のおかげで大成功に終わりました。各方面よりも大きな反響がありうれしい限りです。本当にありがとうございました。
- ◆田熊君、遠藤正幸さん、美しい桜の画像を見せていただきありがとうございました。

## 卓 話

### みしまびとプロジェクト

室伏 強さん・田島一慧さん

みしまびとプロジェクトとは？

NPO法人みしまびと(申請中)

○市制75周年を迎える三島 『三島を何とかしたい』

このままでは三島が、地方が、日本の中で埋もれてしまうのではという危機感。そうならないために、『ほんとうの三島の良さ』を私たち自身が再認識し、多くの人に発信する必要がある…そんな思いをそれぞれに持っているはず。

○みしまびとプロジェクトとは

『三島が好き、三島のために役に立ちたい、三島を活性化したい』そんな目に見えない思いをカタチにし、『三島の未来をになうひと』がうまれるプロジェクトです。

○どのようにカタチにしていく？

コミュニケーションツールが劇的に発達した21世紀においても、『思いをカタチにする』ということは、相変わず困難なことです。私たちは、いまなお『多くの人が、肌と肌でふれあう』ことが、その唯一の方法だと考えます。そこでひとつの、古い歴史を持つ文化に着目致しました。

○三島の映画(ものがたり)をつくる

映画とは…ひとつの物語を、ひとつの大きなスクリーンを通じて、共有するものです。ひとつの完成された文化である映画は、時を超えて、ひとと文化と歴史の証言者であり、発信者たりえます。日本全国に発信できることにとどまらず、国際映画祭に参加するなど、わたしたちが三島に持つ『夢』と重ねて、全世界に向けて発信し、交流を広めることも出来ます。

○目指すのは、みんなが関わること

黒沢清や北野武のもとで助監督として働き、監督として制作した作品は世界十大映画祭にも招待されるなどの実績がある『林弘樹』監督が設立した『映画作りを使ったまちづくり』を推進する映画製作会社『Fireworks』と企画段階から協働し、三島とそこに住む人達の歴史、文化、生活を見つめて脚本をつくりこむ、思いを伝えて製作資金を集める、地元の縁を頼って撮影のコーディネートをする、スタッフの食事を作る、俳優の宿泊所を用意する、照明のレフ板を持つ、エキストラとして走る…多くの人達を巻き込んで、その課程の問題・葛藤・解決などを共有しながら、市民全員が様々な形でプロジェクトに触れてもらうことを目指します。そして、一流のスタッフ、一流の俳優陣と『みしまびと』が三島を舞台にした『世界に通じる本物の映画』をつくるのです。

○あなたに会えて良かった

既に多くの個人や団体が、三島のためにそれぞれの特徴を活かした活動をしています。幅広い分野の人間力が必要とされる映画製作は、いままで出会う機会のなかったそんな【三島を思うひと達】が混ざり合う絶好の機会となるはず。それぞれが出会い、ひとつの何かに向かって動くことで、協調性、想像力、創造力、思いやりや諦めない気持ち…そんな『思い』がカタチとなっていくことでしょ。

○交流・発掘・活性・発信

三島の映画(ものがたり)を製作するという壮大な文化交流を通じて、個人と団体が既存の枠をとりはらいボーダーレスに【交流】し、三島の大切なもの、伝えていきたいものを【発掘】し、これからの三島の未来をどう作っていくのか、どういう自分たちでありたいのか、みんなで語り合い【活性】していくことで、私たち自身が三島の持つ可能性に気づきそしてそれを【発信】していくこと。みしまびとプロジェクトは、【三島の豊かな歴史と自然と文化】を再認識し、【新しい価値と可能性】を見いだしたさらに元気で優しい『三島』が、日本に、世界に向かって胎動しはじめるためのかき混ぜ役になり、ひとりひとりが『三島の未来をになうひと』になってほしいと願います。そして、映画完成後も、市や地域プロジェクトと連動し、三島の未来のために『NPO法人みしまびと(申請中)』が行動していくことを目指します。

## 理事会

〈報告事項〉

- ①みしまびとプロジェクトへの後援依頼があり、理事会で承認されました。
- ②苗栗中学生派遣の付添、記念式典出席をメイクアップとして承認
- ③三島市の豊岡市長より、長年に渡る苗栗との交換事業に対し、三島西ロータリー・クラブと、苗栗市長への感謝状(親書)を戴けることとなりました。
- ④2月23日(月)社会奉仕委員会事業、盲導犬デモ+チャリティーコンサート、146枚のチケットを販売、盲導犬育成の富士ハーネス様に、15万円の寄付。ご協力ありがとうございました。
- ⑤次年度の会員名簿を改定準備。1ページ4名から3名にして活字を大きく、見易くする予定です。

(週報担当:川名正洋)